

2017.6.15 開会

第2回町議会定例会

平成29年第2回町議会定例会が、6月15日に開かれ、20日に閉会しました。

この町議会定例会では、木幡町長の行政報告のあと、承認1件、議案6件、同意11件について審議しました。おもな内容は、次のとおりです。

十六条の二の規定により平成二十八年度の歳入を平成二十八年度に繰上げて補填するための補正予算を地方自治法第百七十九条第一項の規定により専決処分したものです。

◆長万部町過疎地域自立促進市町村計画の変更について

子育て支援対策として実施する、多子世帯保育料等軽減補助金、地域保育所等補助金、市立幼稚園就園奨励費補助金事業の財源に、後年度交付税措置のある過疎対策事業債を申請するため本計画を変更するものです。

◆辺地整備総合計画の策定について

国縫振興会館等の改築にあたり、後年度交付税措置のある辺地対策事業債を申請する際に必要な辺地総合整備計画の策定をするために提案するものです。

◆工事請負契約の締結について

長万部町葬祭場改修工事（建築主体）は、二億二千二百四十八万円で、株式会社山本組と契約することが承認されました。

◆財産の取得について

【取得財産】小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型（大型水槽付消防車）

【取得金額】

五千九百七十二万四千元

【取得の相手方】

札幌市東区苗穂町13丁目2番17号

株式会社 北海道モリタ

代表取締役 中川龍太郎

◆一般会計補正予算（第二号）

平成二十九年度の一般会計予算に歳入歳出それぞれ一億二千七百五十三万八千円が追加され、予算総額四十六億五千六百六十万円となりました。補正のおもなものは、歳入が国庫支出金や繰越金などの追加、歳出は、企画費などの追加です。

◆公共下水道事業特別会計補正予算（第一号）

平成二十九年度の公共下水道事業特別会計予算の歳入歳出それぞれ二十二万一千円を減額し、予算総額三億三千三百二十七万九千円となりました。

◆農業委員会委員の任命について

農業委員会委員として、佐藤馨氏、中込真規夫氏、門間浩司氏、脇敏昭氏、木村正行氏、加藤京子氏、佐野孝一氏、土本治氏、佐橋和哉氏、辻紀樹氏、柏倉恵里子氏の任命に同意しました。

木幡町長の

行政報告

＝平成29年 6月15日＝

各会計 決算見込み

一般会計は、一億二千四百四十三万二千円の繰越しとなりました。

歳入は、明許繰越分を除い

た予算に対して二千三百四十四万八千円の増で、町税が予算に対し千九百五十九万七千円の増となり、歳出は、平成二十九年度への明許繰越分を除いた実質の不用額は、一億九十八万三千円であります。後期高齢者医療特別会計は、八十六万九千円の繰越しとなりました。

国民健康保険特別会計は、九千四百四十二万三千円の赤字となりました。平成二十八年度の赤字は、平成二十九年度の歳入を繰り上げて補てんすることとなるため、五月三十一日付けで平成二十九年度補正予算を専決処分いたしました。

また、療養給付費等負担金等は、翌年度において精算されることから、精算額が確定次第、議会へ補正予算を提案いたします。

介護保険特別会計は、二千五百四十一万二千円の繰越しとなりました。

繰越しとなった主な要因は、介護保険給付費などの減によるものであります。なお、介護保険給付費に係る交付金等は、給付費の割合で交付されるもので、平成二十九年度に

◆国民健康保険特別会計補正予算（第一号）（専決処分）

平成二十八年度の歳出に対して歳入が不足となったことから地方自治法施行令第百六



精算されることから、精算額が確定次第、議会へ補正予算を提案いたします。

公共下水道事業特別会計は、経費の節減に努める中、各支出科目の不用額の発生等により、四百七十二万五千円の繰越となりました。

ガス事業会計は、年間ガス販売量が前年度と比較し微増の十七万八千立方メートルとなり、ガス売上は三百六十九万九千円の増収となりました。

事業収支では、料金改定や経費の節減等により、百七十八万七千円の当年度純利益となり、前年度繰越欠損金三億九千五百六十七万四千円から当年度純利益を差し引きしますと、当年度未処理欠損金は三億九千三百八十八万七千円となります。

水道事業会計は、年間給水量が前年度対比一万八千立方メートル減の六十万五千立方メートルとなり、給水収益は三百十六万円の減収となりました。

事業収支では、経費の節減等により九百四十一万円の当年度純利益となり、前年度繰越欠損金百七十万五千円を差し引きしますと、当年度未処分

利益剰余金は七百七十万五千円となります。

病院事業会計は、前年度と比較し、入院患者数は二二％の増加となり、入院収益では千九百三万一千円の増収となりました。

外来患者数は三％の減少となりましたが、外来収益では六十万六千円の増収となっております。

事業収支では、一般会計から三億一千万円の補助金を繰入れた結果、前年度に比べ約一千万円の収支を改善したものの、期末決算では千四百九十四万九千円の純損失となり、この純損失に前年度繰越欠損金三億四千四十三万六千円を加えますと、当年度未処理欠損金は三億五千五百三十八万五千円となります。

なお、各会計の詳細については決算上程の際に係る資料を提出いたします。

ふるさと納税

長万部町まちづくり基金条例による「ふるさと納税」の平成二十八年度の寄付状況は、

三四八〇件、四千三十五万二千三百二十三円となり、条例施行後の基金総額は一〇八二〇件、一億二千六百九十万六千七百三十七円となりました。

また、平成二十八年度では、まちづくり基金を取り崩し、各目的別事業の財源として、合計千七百五十一万七千二百十九円を充当いたしました。

今後は、返礼品の登録品数を増やすとともに、特産品の全国PRを図りながら、さらなるふるさと納税による寄付の拡大を目指してまいります。

東京理科大学関係

先月十九日、東京理科大学特命教授で政治学者の姜尚中先生の特別講演会が、大学と本町の共催により開催されました。

講演会は、藤嶋学長の御厚意により実現したもので、「悩む力」近代日本の大学・文学に学ぶ文化力としての教養」と題して開催され、町内外から約二百五十名の参加者がありました。

終了後は、理科大の御厚意により、大学関係者と議員各

位をはじめ、町民との交流会も開催され、本町と理科大との交流もさせていたいただいたところであります。

今後も本町と理科大が、益々交流と絆を深めながら発展し、より良い未来へとつながっていくよう対応してまいります。

本町と大学との地方創生に係る包括的連携協定に基づく事業の一つとして展開している、再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネスプロジェクトについては、昨年度に実地研究用ビニールハウスにより、レタスの栽培研究を開始いたしました。販売先確保に向け、既に利用開始している理科大神楽坂キャンパスの学生食堂をはじめ、町内外から協力店及び業者等の取引先の募集を開始しているところでもあります。

また、昨年度末に交付申請していた地方創生推進事業交付金が、四月下旬に事業の採択が公表され、本事業は、内閣府より地方創生の先駆的事业として採択が決定されたのに続き、五月末日に交付決定されたところであります。

今年度は、先進的農業生産

北海道新幹線関係

今月七日、鉄道・運輸機構の最先機関である長万部鉄道建設所の開所式が執り行われました。

この建設所は、工事管理を行うための現地事務所として開設され、現時点では五名体制となっておりませんが、明かり区間をはじめとする工事の本格化に伴い、二十名程度まで増員される予定と伺っております。

また、立岩トンネルのルコツ工区につきましては、これまで、現地において工事を始めるための準備が進められておりましたが、この度準備が整ったことから、今月十九日に安全祈願が執り行われる予

定となっております。

町といたしましては、今後、益々本格化する新幹線工事が円滑に行われますよう、関係機関と密接に連携しながら取り組んでまいります。

長万部駅の高架化につきましては、町からの要望を受け、北海道から鉄道・運輸機構へ要望書が提出されました。

先月には、議長、副議長及び道の担当者とともに鉄道・運輸機構本社などを訪問し、高架化と併せ、まちづくりへの支援をお願いしたところであります。

今後とも、本年中の高架化への変更認可を見据えながら、アクションプランをはじめとするまちづくりを鋭意進めてまいります。

老人福祉関係

高齢者や心身に重度の障害を持つ方が、社会参加や日常生活の中でタクシーを交通手段の一つとして容易に利用できよう、料金の一部を助成しておりますタクシーチケットは、四月十一日から役場窓

口で、また十四日に国縫・中ノ沢・双葉・静狩の各会館に出向き交付手続きを行いました。

五月末までの対象件数は八一二件で、交付件数は七一二件、約八七・八％の交付率であります。

また、九月十八日の敬老の日に合わせ、長寿のお祝いと社会貢献へのお礼をこめて、九月十一日から十三日までと十五日から十八日までの計七日間、老人福祉センターを昨年に引き続き無料開放する予定であります。

さらに、町内にある公衆浴場についても助成を行い無料開放を実施していただくよう準備を進めており、本定例会に補正予算を提案いたしております。

児童福祉関係

四月一日にさかえ保育所の入所式を行い、今年度の入所児童数は、保育定員六〇名に対し、五九名の入所となっておりますが、四月途中に一名が入所しましたので六〇名

となっております。

一時保育事業の四月の利用は、三歳未満児が三名で延べ二十八日間、小学校低学年児童受入事業の利用は、一・二年生が六名で延べ五十一日間、保育所に併設している地域子育て支援センターの利用は、延べ五十七組、一五五人の親子の利用となっております。

また、放課後児童健全育成委託事業の学童保育所「なかまど」は、現在、小学二年生一名、三年生三名、四年生二名、五年生一名の計七名の入所となっております。

葬斎場 改修関係

施設内各所のバリアフリー化、男女トイレの洋式化と多目的トイレ増設、玄関ポーチ改良及び遠隔保全システムを備えた高性能火葬炉の導入であります。

改修工事については、来月から着工し、平成三十年三月竣工の予定で、工事期間中は施設を閉鎖するため、火葬業務については近隣の八雲町と黒松内町の施設利用をお願いすることになります。

なお、この間の火葬場使用料については、本町の使用料との差額が発生いたしますので、本町に在住する対象者に対しての差額分を補助することとし、その費用については、本定例会に補正予算を提案いたしております。

本町の葬斎場は、耐震診断等で問題がなかったことから、既存施設を最大限利用して、施設の増改修工事を実施することといたしました。建物構造は、鉄筋コンクリート造で、建築面積は四八・二九平方メートル、うち増築部が一九・二五平方メートルとなります。

主な改修箇所は、控室・待合ホール・炉前ホールの拡充

生活環境関係

平成二十八年度の本町のゴミ収集総量は、約二〇四〇トンで、前年度と比較して約四九トンの減となっております。

また、渡島廃棄物処理広域連合に排出した可燃ゴミの量は、約一六七五トンで、前年度と比較し四一トンほど減少いたしました。

ゴミ減量化の一環としては、小型家電は役場内に、廃食用油は各会館等に無料回収ボックスを設置し、衣類については各地域等への巡回無料回収を実施しております。あわせて、今年度からは役場内担当窓口で、随時無料で衣類回収を行っております。

今後ともゴミの減量には、町民一人ひとりの意識と実行が欠かせないため、ゴミの分別排出にもご協力いただくよう一層の啓発に努めてまいります。

地球温暖化 対策関係

昨年、閣議決定された「地球温暖化対策計画」では、二〇三〇年度に二〇一三年度比でCO₂の四〇％削減目標が掲げられました。本町におきましてもこの目標に少しでも

近づけるため、早急に「長万部町地球温暖化対策計画」を改訂し、公共施設を対象に省エネ設備等を導入していくことが必要となっております。

つきましては、その第一段階としての計画策定と温室効果ガス排出量の調査及び施策検討事業を実施するため、平成二十九年度環境省所管の補助事業を活用することを条件に、現在準備手続きを進めております。

このソフト事業実施における委託事業者については、公募型プロポーザル方式により選定する予定であり、本事業に係る費用については、本定例会に補正予算を提案いたしております。

農業関係

家畜の主たる飼料作物であります牧草は、春先の高温多照により生育は順調に経過しており、五月十五日現在の作況状況では、生育は平年より早く推移しております。また、サイレージ用とうもろこしは、播種作業が平年並に進んでい

る状況となっております。

牧野事業では、足腰の強い優良な後継牛の育成や生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場の運営事業を行っておりますが、今年度も牛ウイルス性下痢の入牧前検査後に入牧を実施しており、牧場内での感染防止に努めております。

入牧状況につきましては、町内酪農家の飼育牛は、四月二十八日に共立牧場へ二二四頭、五月八日に蔵岱牧場へ九三頭を入牧しました。

また、共立牧場は、入牧頭数に余裕があるため、今年度も豊浦町及び洞爺湖町の酪農家の飼育牛の預託を受入れ、五月十八日に七七頭の入牧が終了し、合計三九四頭が入牧しております。

生乳生産量は、一月から四月まで三三一九トン、乳代は二億九千九百四十六万円となり、前年に比較し六六トンの減となり、乳代では五百五万円の減となっております。

黒毛和牛の一月から四月までの販売頭数は九四頭、販売金額は七千九百九十二万円となり、前年に比較し、販売頭数で十一頭の増となり、販売金

額では千百三十三万円の増となっております。

林業関係

森林環境保全整備事業及び環境林整備事業の共立地区の地拵・植栽事業三ヘクタールは、四月十七日に着工し、五月三十一日に完成しております。

緑化推進では、今年度も引き続きNPO法人長万部町緑と樹を愛する会からエゾヤマザクラの苗木一〇〇本の寄贈があり、四月二十九日に同法人主催の「植樹祭」で、町民参加のもと富野地区の町有地に植樹が行われました。



有害鳥獣

駆除対策

有害鳥獣駆除対策では、長万部町鳥獣被害防止対策協議会が中心となり、関係機関と連携を図りながら、効果的な被害防止対策を実施しております。

また、ヒグマや近年個体数が増えているエゾシカが、林業や農業へ被害をもたらしていることから、総合的に対処するため、今年度も引き続き鳥獣被害防止対策事業を同協議会に委託し、ハンターによる巡回の徹底や有害鳥獣駆除業務を実施し、被害防止対策の強化を図っております。

今後とも関係機関と連携を図り、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、人畜被害を防止するための適切な処置を実施してまいります。

漁業関係

基幹産業である平成二十八年度のホタテ貝養殖漁業生産

量は、成育不良や台風による養殖施設が被害を受けたことにより、一〇六〇七トンとなり、前年度に比較し六五六一トンの減産で、生産額では四十二億五千八十万円となり、前年度と比較し十四億千六百九十一万円の減収となっております。

また、EU向けホタテ貝出荷は減産により、平成二十八年度に限り、出荷を中止しております。

渡島北部地区水産技術普及指導所が、本年二月に長万部町海域のホタテ稚貝の生育等を調査した結果、正常貝は約八六％、変形及び欠殻貝が約一三％、へい死等の死貝が約一％となっており、例年と比較し良好な成育状況になっておりますが、引き続き関係機関と連携し、生育状況を注視してまいります。

また、近年、全国的に不漁が続く秋サケ漁の平成二十八年度の漁獲量は約五二六トンで、前年度に比較し約七九トン減少し、漁獲額は二億六千三百三十五万円となり、六百七十六万円の増収となっております。

長万部町水産廃棄物リサイ

クル施設については、長万部町内の水産加工処理により生ずるホタテウロを効率的、衛生的かつ安全に処理するため、管理及び運営を長万部漁業協同組合へ委託しておりますが、ホタテ貝の減産等に伴い、原料であるホタテウロの搬入量が減少しているため、製品の製造量も減少しておりますが、引き続き品質を向上させ、施設の運営を適切に行ってまいります。

商工観光 労政関係

中小企業を取り巻く環境は、緩やかに改善しているところでありますが、本年度も事業経営のさらなる安定を図るため、中小企業特別融資資金の貸付けを関係機関と連携し実施しております。

観光振興では、長万部町、八雲町、今金町、せたな町の北渡島檜山四町地域による観光部門での広域連携事業に積極的に取り組み、北海道新幹線開業効果を当地域に波及させるべく事業を進めてまいります。

また、長万部観光協会では、JR長万部駅構内に設置されております観光案内所「インフォまんべ」を拠点に、町の観光情報を発信するとともに、道内外での各種観光イベントにも積極的に参加し、観光客の誘致に努めております。さらに町を訪れる多くの観光客のみなさんへ長万部温泉や二股ラジウム温泉、飲食店の紹介をはじめ町内の観光情報を提供しております。今年度は特産品売り場の拡大も計画されており、観光客のみなさんの利便性の向上が図られるものと考えております。

本町の経済活性化の一環であります合宿等誘致事業は、ゴールデンウィーク期間の合宿等も順調に推移しており、今後とも関係機関と十分な協議を進め、合宿誘致を実施してまいります。

新規学卒者の就職状況は、景気の緩やかな回復と人手不足などを受けた企業の採用意欲の向上等により改善され、地元高校の三月卒業生の就職率は一〇〇%となっております。

建設関係

建築事業では、町営住宅はまなす第二団地非常灯バッテリー交換工事は七月二十一日までの工期で、現在、施工中であります。

また、延べ床面積一千平方メートル以上の町営住宅六棟について、法定点検である特殊建築物定期調査を九月二十二日までの委託期間で実施中であります。

その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事については、計画的に実施しております。

土木事業では、国の社会資本整備総合交付金事業を活用して実施する橋梁点検調査を十二月二十二日までの委託期間で実施中であります。

また、町道富永幹線取付道路工事を九月二十二日までの工期で発注しております。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事を十一月十七日までの工期で発注しております。

その他、町道の側溝補修等については、計画的に実施しております。

公共下水道 事業

汚水処理施設共同整備事業の基本設計・地質調査・地形測量・詳細設計委託業務については、平成三十年三月三十日までの委託期間で実施中であります。

教育関係

公園関係では、あやめ公園は四月十四日に、長万部公園は四月二十一日に、それぞれオープンし、パークゴルフやキャンプなど、町内外の多くの方に利用されております。

また、長万部公園ブランコ設置工事を、六月二十日までの工期で、現在、施工中であります。

その他、公園管理用芝刈機を八月三十一日までの納期で、購入契約を締結しております。

病院事業

三月末で熊谷前院長が退職され、四月より伊藤内科医長が新院長となりました。

新たな体制での病院運営と

なりますが、内科常勤医師が一名不在のため、嘱託医や出張医での診療となり、町民のみなさんにはご不便をおかけしております。

厳しい経営状態が続いておりますが、引き続き、医師確保に努めるとともに、今後地域に根ざした信頼される町立病院を目指してまいります。

長万部高等学校制服購入費補助は、新入学生の保護者一人から申請があり、八十万九千五百二十四円を四月十九日に委任払いにより制服納入業者に支出しております。

長万部高等学校通学費補助は、国縫及び黒松内町等の通学者一人から申請があり、百五十七万四千二百六十円を支給決定しております。

また、国公立大学及び東京理科大学生に対する奨学金の給付や貸付けは、国公立大学生五名から申請があり、奨学金運営委員会を開催し給付等の決定をしております。

消防関係

今年五月末現在の火災件数は四件で、うち、建物火災が一件、車両火災が二件、野火が一件発生しております。

救急件数は一三〇件、搬送人員は一二九人で、うち、急病が七二件、交通事故が四件、一般負傷が一四件、その他転院搬送などが三八件で、ドクターヘリによる施設間搬送が二件となっております。

火災予防の事業では、春の全道火災予防運動期間中に、ホテルや大型店舗など不特定多数の方が出入りする施設の

防火査察、一般住宅における住宅用火災警報器の設置調査や作動確認を実施し、早めの更新を促しました。

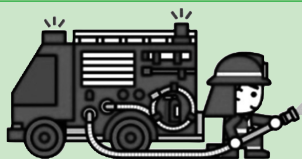
また、今年度におきましても、子供から大人まで広く町民のみなさんに消防を身近に感じていただくため、「おしゃまんべ消防フェス」を開催するなど、火災予防の推進に取り組んでまいります。

消防団の状況については、六月一日現在の団員数は、基本団員が一二九名、うち、女性団員が一八名で、機能別団員が二一名となり、条例定数の一五〇人にまで充足いたしました。

また、消防団の装備については、中ノ沢分団と双葉分団の消防車にAEDを搭載するなど、今後とも消防体制並びに消防装備の充実強化を図ってまいります。

なお、五月二十九日に大型水槽付消防車の購入に係る入札を行いましたので、地方自治法の規定に基づき、本定例会に財産の取得について提案いたしております。

おしゃまんべ消防フェス2017



- ・とき 平成29年8月5日(土)
午前10時00分～11時30分
- ・ところ 長万部町消防本部前



防災の大切さを体験して学ぼう

今年も消防フェス2017を上記の日程で開催します。昨年同様各種体験（消防車の乗車・放水・煙・消火器・AED）等のイベントを予定しています。また、参加者には無料で焼き鳥、焼きそば等の引換券をご用意しています。夏休みの思い出作りに家族揃って消防署までお越し下さい。



※食べ物コーナーは数に限りがありますので、お早めにお越し下さい。
火災・災害発生時は中止とさせていただきます。(雨天時一部変更もあります)

(有料広告)



社団法人全日本不動産協会員 北海道知事免許【渡(1)第1136号】

株式会社 佐々木建業

長万部町字平里99-25
TEL 01377-2-4555 FAX 01377-2-5869

●土地 ●建物 ●売買 ●賃借 ●仲介代理 ●一般建築 ●屋根板金

売りたい方、買いたい方、
不動産のことならお任せください！